

I 開催状況

開催日時	開催場所	出席者数
平成 29 年 4 月 6 日（木） 9:30～11:30	すずらん	9 名
平成 29 年 6 月 1 日（木） 9:30～11:30	〃	11 名
平成 29 年 8 月 3 日（木） 9:30～11:30	〃	10 名
平成 29 年 10 月 5 日（木） 9:30～11:30	〃	9 名
平成 29 年 12 月 7 日（木） 9:30～11:30	〃	8 名
平成 30 年 2 月 1 日（木） 9:30～11:30	〃	10 名

II 会議の主な内容**1 当事者の体験談や事例検討**

- (1) 精神疾患がある方が歩んだ就労への道のり
- (2) 精神手帳や療育手帳を持つ方への就労支援について～貧困の連鎖～
- (3) アルコール依存症、家族会の現状について
- (4) アルコール依存症のある方への支援について（当事者及び家族支援）

2 アルコール依存症に対する支援

高齢者や障がい者のアルコール依存症が増えている。まずは、支援者側がアルコール依存症についての知識を深め、地域での支援に繋げていくために、事例検討を通してアルコール依存症を持つ方への支援について学んだ。

3 個別ケースについての検討

各機関が支援している個別ケースについて事例検討を実施。事例検討のみでなく部会の中で進捗管理を行った。

III 平成 30 年度の相談支援部会について

平成 29 年度は、当事者の体験談やアルコール依存症の家族会の現状を学んだ他、精神障がいや知的障がいの方の事例検討を行った。事例から見えてくる課題や各機関の役割、地域での支援など、様々な視点から意見交換・情報交換を行った。

平成 30 年度においては、各々が主体性を持って参加するために、各回のテーマを明確にするなどの工夫が必要である。また、事例検討においては、当事者のみならず、当事者を取り巻く家族等への支援が必要な事例が多く、関係する機関（高齢、児童、教育など）を集め、分野を超えての情報交換を進めていきたい。さらに、今後の相談支援部会のあり方について検討していく。

両親の高齢化に伴い、両親亡き後の支援は、大きな課題であり、相談支援部会でも検討していく必要がある。